

青梅の妖怪と伝説と七つの不思議

かつて語られ、今も息づく青梅の「不思議」な物語たち。この秋、青梅に伝わる妖怪や伝説をテーマにした「七つ」のイベントを開催します。こどもから大人まで楽しめる体験を通して、知られざる青梅の魅力を再発見しませんか？

フォトコンテスト

市内の妖怪・伝説スポットの写真を対象としたフォトコンテストです。

期間 9月1日(月)～11月30日(日)

会場 市内の妖怪・伝説スポット

デジタルスタンプラリー

市内に伝わる妖怪や伝説に関連するスポットを巡るデジタルスタンプラリーです。

期間 9月1日(月)～11月30日(日)

会場 市内の妖怪・伝説スポット(30か所)

Instagram妖怪・伝説特集

OmeBlue公式Instagramにて、市内各地の妖怪や伝説について紹介する特集を発信します。

期間 9月1日(月)～11月30日(日)

クイズラリー

市内の妖怪や伝説に関連するクイズを解き、全問正解を目指すイベントです。

期間 9月1日(月)～9月30日(火)

会場 御岳溪谷遊歩道
(スタートは沢井市民センター)

講演会「妖怪レシピの隠し味～民話と情話」

小説家の京極夏彦先生をお招きします。

日時 9月7日(日) 午後2時～午後3時30分

会場 市役所2階204～206会議室

※すでに申し込みは終了しています。

謎解き脱出ゲーム

市内の妖怪や伝説に関連する謎を解き、異世界からの脱出を目指すイベントです。

期間 10月1日(水)～10月31日(金)

会場 新町地区(スタートは旧吉野家住宅)

妖怪・伝説探し

記念館の敷地内に隠れた妖怪や伝説を探すイベントです。

期間 11月1日(土)～11月30日(日)

会場 青梅市吉川英治記念館(要入館料)



※一部、内容に変更等が生じる場合があります。

問 シティプロモーション課観光係

1日は「防災の日」

問 防災課

9月1日は、1923(大正12)年に関東大震災が発生した日であり、暦の上では二百十日に当たる日です。二百十日は、立春から数えて210日目(9月1日頃)のことをいい、台風がよく来る厄日とされています。

また、この9月1日を含む1週間(8月30日～9月5日)は「防災週間」と定められています。

皆さんもこの機会に自宅の備えとして、防災対策や備蓄品の確認をしてみましょう。

市でも、防災対策の支援もありますので、自宅の防災対策の手始めに活用してみてください。



市の災害対策や支援

避難行動要支援者制度

災害時の避難で支援が必要な方(避難行動要支援者)の名簿を作成しています。対象者には「避難行動要支援者届出書兼名簿情報提供同意確認書」を送付しています。未回答の方はお早めに回答してください。

青梅市ブロック塀等撤去費補助制度

ブロック塀や万年塀の倒壊事故防止のため、所有・管理者は適切な維持管理が必要です。道路に面する塀の撤去費用の一部を補助しています。

家具転倒防止器具等支給取付事業

近年の地震で負傷原因の30～50%が家具類の転倒や落下です。被害防止のため、家具転倒防止器具の無料支給・取付事業を実施しています。

青梅市民防災ハンドブック・防災マップ

災害に対して日頃から備えるための対策や、災害発生時に取るべき行動を掲載しています。防災に関する知識を高めるために活用してください。



7～13日は救急医療週間

問 青梅消防署 ☎22-0119

その通報、本当に119番ですか？

東京消防庁が令和6年中に受けた119番通報の約2割が「緊急性のない」、「消防に関係のない」ものでした。このような不要不急の通報は、ほかの緊急通報の妨げとなりますので、最後までお話を聞かずに切断する場合があります。

救急車の要請が多く、近くの救急車が出場している場合、遠くにいる救急車が出場することになり、到着までに時間がかかることがあります。

救命処置が必要な方など、一刻も早く、真に病院に行く必要のある人のもとに救急車が到着できるよう、救急車の適時・適切な利用にご協力をお願いします。

東京版救急受診ガイド 救急相談センター(＃7119)

「ためらわず救急車を呼んでほしい症状」に該当した場合は、速やかに119番に連絡してください。迷ったときはスマートフォン等で自分で判断できる東京版救急受診ガイドを、電話で相談したい場合は＃7119、東京消防庁救急相談センターに相談してください。

「東京消防庁 ためらわず救急車を呼んでほしい症状」で検索

Live119

通報者のスマートフォンを使い、救急現場などの映像を災害救急情報センターに送信等ができる仕組みです。管制員からは、送られてきた映像を見ながら応急手当の方法を指導したり、応急手当のやり方が分かる動画を送信することができます。

地域のことを話し合おう「地域住民座談会」



日程	時間	会場	定員
9月30日(火)		沢井市民センター多目的室	72人
10月16日(木)		大門市民センター第3会議室	54人
10月21日(火)	午後2時～4時	東青梅市民センター第1会議室	36人
10月30日(木)		成木市民センター第1研修室	35人
11月1日(土)		河辺市民センター第2・3会議室	60人
11月5日(水)	午後6時～8時	新町市民センター第1・2会議室	55人

内容

▷地域福祉総合計画・こども計画および地域福祉活動計画の概要説明

▷住民同士による地域の意見交換会

①「地域の自慢できるところを見つけよう」

②「地域でわたしができること」

※グループを作成し、意見交換を行います。

申し込み

住所、氏名、メールアドレス、年齢、意見・質問をメール ☎ div1510@city.ome.lg.jp または申し込みフォーム(右記2次元コード)で地域福祉課福祉政策担当へ

